



伊賀市指定有形文化財 曾我蕭白筆 鳥獸人物画押絵貼屏風 西蓮寺藏

三重県総合博物館 × 三重県指定文化財等所有者連絡協議会

交流展 すばらしい三重の文化財Ⅱ

1. 伊賀につたわる文化財
2. 新しく三重県指定になった文化財
3. 三重県総合博物館に寄贈された文化財

平成29年

2月4日(土)ー3月20日(月)(祝)

観覧無料 free admission

三重県総合博物館

MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

[主催] 三重県総合博物館、三重県指定文化財等所有者連絡協議会、[後援] 三重県博物館協会、三重県教育委員会、伊賀市教育委員会、桑名市教育委員会、
[会場] 三重県総合博物館 企画展示室 (三重県津市一身田上津部田 3060 TEL 059-228-2283)、[開場時間] 午前 9 時～午後 5 時 (土日祝は午後 7 時まで)、
[休館日] 月曜日 (2月6日・13日・20日・27日、3月6日・13日)

三重県総合博物館 × 三重県指定文化財等所有者連絡協議会

交流展 すばらしい三重の文化財Ⅱ

平成29年2月4日(土) - 3月20日(月祝)

[主催] 三重県総合博物館、三重県指定文化財等所有者連絡協議会、[後援] 三重県博物館協会、三重県教育委員会、伊賀市教育委員会、桑名市教育委員会
[会場] 三重県総合博物館 企画展示室 (三重県津市一身田上津部田 3060 TEL 059-228-2283)、[開場時間] 午前9時～午後5時 (土日祝は午後7時まで)
[休館日] 月曜日(2月6日・13日・20日・27日、3月6日・13日)

うけつぐ、まもる、つたえる。

「交流展 すばらしい三重の文化財」は、三重県総合博物館と三重県指定文化財等所有者連絡協議会(三文協)による、三重の文化財のすばらしさを広く発信することを目的としたシリーズで開催しています。第2回目となる本展覧会では、伊賀地域で代々受け継がれ、大切に保存されてきた文化財に焦点をあててご紹介いたします。また、あわせて、昨年度新たに三重県の指定文化財となった文化財や、これまで当館に寄贈されてきた文化財についても紹介いたします。

私たちが受け継ぎ、大切にまもり伝えている三重の文化財をみなさんにご覧いただき、そのすばらしさにふれていただくとともに、子どもたちや将来の世代が同じように感動し、心豊かにくらすことができるよう、文化財を大切にまもり、未来へ伝えていくことの大切さも感じていただければと思います。

伊賀につたわる文化財

文化財の中でも特に重要なものは、国民共有の財産として、国や県、市町村などから指定され、保護されます。国の指定であれば「国宝」や「重要文化財」、三重県の指定であれば「三重県指定有形文化財」などと呼ばれます。

三文協は三重県内の国や県、市町に指定された文化財を所有する個人や団体の集まりで、協力しながら文化財を継承していく活動をしています。本展覧会では、伊賀地域の三文協会員が所蔵する指定文化財を中心に紹介します。

新しく三重県指定になった文化財

三重県教育委員会は、三重県文化財保護審議会の答申を受け、県にとって重要な文化財(有形文化財、無形文化財、民俗文化財及び記念物)を県の指定文化財に指定し、保存と活用を図っています。本展覧会では、平成27年度に新たに三重県指定となった文化財を紹介します。

三重県総合博物館に寄贈された文化財

文化財は、本来、それが伝えられた地域や所蔵者のもとで継承・保存されていくことが望ましいとされています。しかし、より良好な保存環境での管理や、広く公開・活用されることを目的として、伝えられてきた文化財が博物館へ寄贈されることもあります。こうした市民のみならずから三重県総合博物館へ寄贈された文化財を3階実物図鑑ルームで公開しています。

学芸員によるギャラリートーク

[日時] 平成29年2月4日(土)・5日(日) いずれも午後2時から

[場所] 三重県総合博物館 3階 企画展示室

展示を見ながら、展覧会の内容や作品に関する解説を行います。申し込みは不要です。当日企画展示室へお越しください。

主な出展作品

[西蓮寺] (伊賀市)

三重県指定有形文化財 絹本着色地藏十王図(全11幅)

伊賀市指定有形文化財 曾我蕭白筆 鳥獣人物画押絵貼屏風

[敢国神社] (伊賀市)

三重県指定有形文化財 三十六歌仙扁額(全12面)

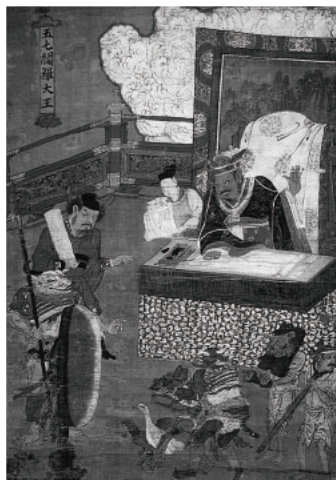
三重県指定無形民俗文化財 敢国神社の獅子舞

平成27年度新指定文化財

[桑名神社] (桑名市) (桑名市博物館保管)

三重県指定有形文化財 太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作

三重県指定有形文化財 太刀 銘 勢州桑名藤原千子正重



絹本着色地藏十王図(⑤五七閻羅大王、⑥地藏菩薩図) 西蓮寺蔵

13世紀末頃中国で描かれ日本にもたらされた、地獄で亡者の審判を行う十王と地藏菩薩の掛け軸です。



三十六歌仙扁額(⑨から小野小町・紀友則・僧正遍照) 敢国神社蔵

平安時代の和歌の名人36人の肖像と代表作を3人ずつ描いた江戸時代の扁額で、公家の近衛信益が和歌を書いています。



太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作 桑名神社蔵(桑名市博物館保管)



太刀 銘 勢州桑名藤原千子正重 桑名神社蔵(桑名市博物館保管)

⑨「妖刀村正」として知られる室町・戦国時代の桑名の刀匠・村正(3代目)が制作した太刀と、⑩村正を祖とする刀匠・千子派の正重による太刀です。

【表紙】鳥獣人物画押絵貼屏風

無額の画家として著名な江戸時代の画家曾我蕭白による屏風で、中国の歴史上の人物、馬や鳥などの動物が描かれています。

MieMu 三重県総合博物館

みえむ

MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061
tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp
web http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_pref_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

【開館時間】 午前9時～午後7時 ※基本展示室・企画展示室は平日午後5時まで、土・日・祝日は午後7時まで(最終入場は、閉館の30分前まで) 【休館日】 月曜日(2月6日・13日・20日・27日、3月6日・13日) 【アクセス】 公共交通機関: 津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道) 西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘団地行き」) 約5分、「総合文化センター前」下車、/ 徒歩: 津駅西口から約25分 / 自動車: 伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

